# うんしん(蘊真)

学び
ふれあい
伸びゆく芙蓉

学校だより第11号は、明日は「文化発表会」、思いを語るです。

文責　校長 杠

明日10月21日は、令和8年度佐賀市立小中一貫校芙蓉校

## 文化発表会です。

今年の
テーマは、 **青春** ～ここにしかない瞬間をみんなで～

今年のテーマには、「『青春』という名のもとで、夢や希望を抱き、限りなく広がる私たちの未来に思いをよせ、かけがえのない仲間と共に一瞬一瞬を精一杯生きることで『私たちは、今、ここにいる』という証を残したい」という思いが込められています。テーマ発表の日から今日まで、実行委員会を中心に全児童生徒の力を合わせて練習や準備に取り組んできました。この練習期間、秋の心地よい風に乗り、校舎や体育館から力強い練習の声や美しい歌声が聴こえていました。各教科で制作した作品も力作ぞろいです。明日という日に、かけがえのない仲間と、二度とない瞬間瞬間を大切に刻んでほしいと思います。今年の文化発表会、子どもたちの思いを、芙蓉校の思いをお届けします。

開会行事、開始予定時間は８：１５です。

## 生徒会からの提案

「自ら進んで挨拶をする習慣」の定着に向けて、全校児童生徒が主体的に関わる取組みを!!

自分の思いを、自分の声で伝える。なんと難しく、なんと勇気のいることでしょうか。そのような、思いを伝える努力を惜しまない芙蓉っ子たちの活躍を御紹介いたします。

9月30日（水）は定例の職員会議でした。その職員会議という場で、生徒会本部から「朝の挨拶運動」について提案がありました。職員会議という場に立ち生徒自らが提案をする。私自身、初めての経験でした。どれだけの勇気がいったことだろうと思います。そして、その根拠ある提案に脱帽でした。以下、原文のまま紹介します。私たち教職員も提案を真剣に協議しました。御家庭でも話題にしていただければと思います。

**現在、生徒会では毎朝挨拶運動を行っています。活動を続ける中で、本校には自ら進んで挨拶する習慣が十分に定着していないという課題があると感じています。また、生徒会役員が挨拶をしても返事が少ない場面も見られます。**

**生徒会では当初、朝の挨拶運動をなくすことも検討しました。しかし、現在の状況で挨拶運動をなくしてしまうと、本校の挨拶に関する課題がそのまま残ってしまうことが懸念されます。**

**そこで私たちは、挨拶運動をやめるのではなく、より多くの児童生徒に「挨拶をする側」の立場を経験してもらうことが大切ではないかと考えました。そのため、生徒会だけで取り組むのではなく、各学年にも協力していただきながら「学年挨拶運動」を実施することを提案します。**

**実際に挨拶をする立場を経験することで、挨拶の大切さや、相手に気持ちを伝えることの難しさ、さらには挨拶を返してもらえる喜びを感じることができると考えています。また、生徒会だけの活動ではなく、全校児童生徒で取り組む活動にすることで、挨拶に対する意識が高まり、自ら進んで挨拶ができる学校づくりにつながることを期待しています。**

**生徒会としては、本校の課題である「自ら進んで挨拶をする習慣」の定着に向けて、全校児童生徒が主体的に関わる取組みを進めていきたいと考えています。**

**先生方のご意見をよろしくお願いします。**